

2022年、押原小学校は地域・保護者に支えられ、コミュニティ・スクール9年目を迎えます。

学校と家庭・地域とをつなぐコミュニティ・スクール通信



昭和町立押原小学校
CS学校通信 NO. 6
令和4年9月16日
校長 深澤 秀興



校長室の窓辺より

自らの不遜^{ふそん}な考えを反省

本校では、児童が夏休み中に作成した工作や、取り組んだ自由研究などを展示する、恒例の“CS夏休み作品展”を8月30日～9月2日までの間、多目的室で開催しました。

HP上にblogをUPしている私は、「御多用で参観できない方もいだろうから」、いわゆる「いい作品の写真をとり、blogで紹介して差し上げよう」と考え、写真を撮り始めました。

1年生から6年生の工作を見、次に自由研究を見始めた時のこと。私は、3年生の模造紙4枚に及ぶとある自由研究の前で、足が止まってしまいました。「母のいない一週間」と題するその作品は、お母さんがプチ手術で入院なされたので、その間、食事のことを始め家事一切を、

家族で分担し、日々家事をこなすお母さんの大変さを身をもって経験したという、体験記でした。この作品を目にした時の、私の最初の感想は正直、理科の自由研究でもなければ、郷土学習等の社会科研究でもない、「単なる体験記か」というものでした。ところが、作品を読み進める内に、児童が思いかけない母親の入院に、どれほど動揺し、不安を覚え、そして悲しんだか。さらに、それらの思いを心の中にしまい込み、残された家族で協働し、家族の危機を如何に乗り越えたか。児童の思いと体験内容が、行間から私の心に刺さってきました。次の瞬間、私は「ハッ！」と気づかされました。お恥ずかしながら、私は小学校3年生の児童から、あることを教えてもらったのでした。それは、児童の夏休みの足跡である工作や自由研究において、「いい作品」、「そうでない作品」などという線引きはできないということ。どの作品にも、思いの熱量の差はあっても、作品としての価値の差などというものは存在しないということ。どれもこれも、珠玉の作品であるということ。

榎原敬之氏が、「世界に一つだけの花」の中で「もともと特別な only one」という歌詞に託した考えは、確か“これ”だったと思います。比較という方法でものを見つめたり、捉えたりする目が、知らず知らずの内に自分の中でstandardになってしまっていたのではないか。そんな不遜な考えや態度を深く恥じました。

(御家族の名誉のために申し上げますが、お母様はコロナ関連でもなければ、重度の病でもありません。)

【夏休みの総括】

動会の特別日課もスタートし、2学期が本格的に始動しました。それに先だち、子どもたちや、担任の先生方より、子どもたちの夏休みの様子について話を伺いました。楽しい思い出話も沢山ありましたが、上に記したように、家のお手伝いを沢山した子や宿題を早めに終わらせてしまった子、中には、夏休み中、欠かさず、毎日家でラジオ体操をしたという子も。本校ではそのような夏休み中に頑張った子257名に対して、保護者の御推薦を得て「校長賞」を授与しました。



*1 謙遜でないこと。おごりたかぶっていること。また、そのさま。おうへい。高慢。傲慢。

【裏面も御覧ください】

令和4年度 秋季大運動会について



本校では、今年度の運動会を、9月24日(土)〔雨天順延〕に行います。コロナ禍の運動会。「今年度も半日開催、更に来賓及び参観者の御来校を制限して実施」との決断をさせていただきました。一方、そんな中ではありますが、小学校生活最後となります6年生及び同保護者・祖父母の皆様へ配慮した運動会とさせていただくことにしました。具体的には6年生のみ、「秋の思い出 親子 de 綱引き」と題して、親子競技を1種目実施します。更に、6年生の祖父母のみ参観を可とする“特別参観”(45家庭で40名の祖父母の方々)を実施します。5年生以下の児童・保護者、祖父母の皆様には御異論もあるかとは思いますが、学校の意のあるところを、御理解・いただきたいと思います。

ESD(SDGs) 田園都市 昭和町の“よさ”を持続していく取組



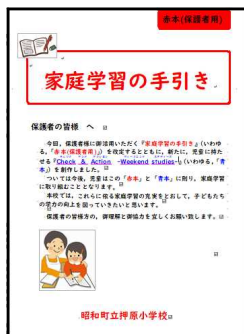
(befor)



(after)

「いたぞ!」。今日もビオトープから、子どもたちの歓声が聞こえてきます。そうです、ザリガニなどを見つけた子どもたちの声です。ところが夏場になると葦が生い茂り、自然の姿と言えはそれまでですが、子どもたちにとっては・・・本校のビオトープは、川岸がコンクリートで固められておらず、昔の昭和町の、小川の風情を止めています。そこで、この夏、樹木の手入れを依頼している甲南緑化様の御協力を得て、葦の根の部分からの駆除に取り組みました(蘆の根は強いので、まだ道半ばですが)。今後は10月中をめどに、山梨県水産試験場の協力を得て、昭和町内の小川に生息するフナやドジョウ、ハヤ、メダカを放流していきたいと考えています。更にゆくゆくは、沢ガニも放ち、川魚と共に保護していきたいと考えています。その折には、保護者、地域の皆様のお力添えを得たいと考えていますので、どうぞ宜しくお願いいたします。9月29日(木)には、(公社)山梨科学アカデミーの御協力を得て、3年生が郷土学習の一環として、田園の水中小動物を御専門とするオオムラサキセンター副所長の富樫和孝先生をお招きし、「小川に住む生き物」について、学習を行います。

新「家庭学習」の取組



下の【10月】の予定にも記しましたが、3日(月)より、新しい家庭学習の取組をスタートさせます。これに向けて本校では、保護者向けの赤い表紙の解説書(通称「赤本」)と児童用の「青本」の2冊を作成しました。今回の取組の目玉は、

- 1 生活習慣・学習習慣の確立。
- 2 平日は宿題を中心に基礎学力の向上を、休日は自学を。
- 3 自分自身で、翌日の学習の準備をしながら、自分の日々の生活をふり返る。
- 4 **そして、2週間に1度の「家庭学習ふり返りの日」には、保護者に、青本に張ってある「Check & Action」シートの、子どもの反省に目を通していただく**

といったものです。運動会前には配布を致しますので、事前に目を通して頂き、御理解と御協力をお願いいたします。なお本取組は、子どもたちがあまり無理なく取り組めるよう、習い事(含む、スポ少)の時間も、家庭学習の時間に位置付けました。

【10月】の主な予定

3日(月) 新しい家庭学習の取組スタート

5年校外学習(弁当)

4日(火) 3年社会科見学

5日(水) 5年起震車・煙体験

6日(木) 2年校外学習(弁当)

就学児検診

11日(火) 押原小学校創立記念日

13日(木) スクールカウンセラー来校

14日(金) 特別日課5校時

新入児童理解検査

16日(日) 家庭学習ふり返りの日

15日(土)・16日(日) PTA関ブロ大会

17日(月) 陸上記録会(弁当)

18日(火) 1年校外学習(弁当)

20日(木) 4年校外学習(弁当)

25日(火) SDGsの日

26日(水) 4~6年町主催音楽鑑賞会

27日(木) 臨時学校運営協議会

スクールカウンセラー来校

30日(日) 家庭学習ふり返りの日

31日(月) 特別日課6校時

スケート教室3・4年

*詳細は学年だより等で、御確認ください。